

2024.11.11

米子工業高校で出前講座を開催しました

令和6年度 米子工業高校 出前講座 実施計画

- 講座名 インフラの維持管理
- 目的 橋梁点検の実習を通じて、建設業への関心を高める
- 日時 令和6年11月11日(月)12:40～15:30
- 対象者 県立米子工業高校 建設科 土木コース 3年生11人
- 場所 講義 西部総合事務所2号館21号室
実習 国道181号 昭和新橋(西部総合事務所横)
- 主催 鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会(事務局:公益財団法人鳥取県建設技術センター)
- 計画・実施 鳥取県コンクリート診断士会
- その他 生徒にクラックスケールをプレゼント(鳥取県コンクリート診断士会より)

日 程 表

実習科目	時間	講師
12:50学校出発(西部総合事務所へ移動 : 生徒は作業着とヘルメット着用のこと)		
○講義 ・インフラ維持管理の基礎 ・橋梁点検実習の説明	13:10～13:40	鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社エスジーズ)
○体験実習(3班体制) ①地上からのコンクリート調査 ・RCレーダーによる鉄筋探査 ・クラックスケールによるひび割れ幅測定	13:50～14:50 (各20分)	①鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社エスジーズ)
②地上からのコンクリート調査 ・シュミットハンマーによるコンクリート強度推定 ・コンクリートの打音調査(不良コンクリート片)		②鳥取県コンクリート診断士会 (株式会社エスジーズ)
③高所作業車によるコンクリート調査 ・コンクリートの打音調査 ・鋼橋桁の板厚測定 ほか		③鳥取県コンクリート診断士会 (美保テクノス株式会社)
○質疑	14:50～14:55	
○終了 あいさつ、記念撮影	14:55～15:00	
(学校へバスで移動 西部総合事務所出発15:10)		

実習場所位置図(国道181号昭和新橋)

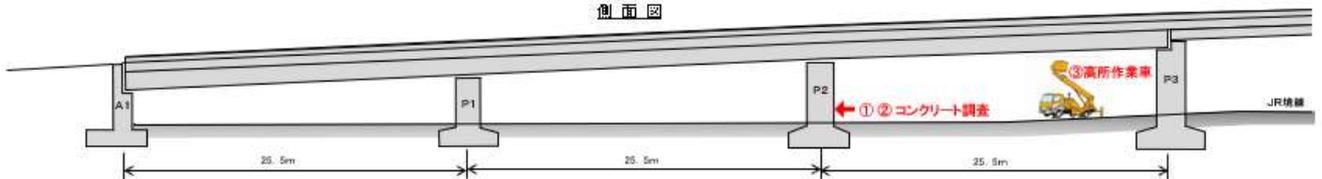


実習場所 現況写真

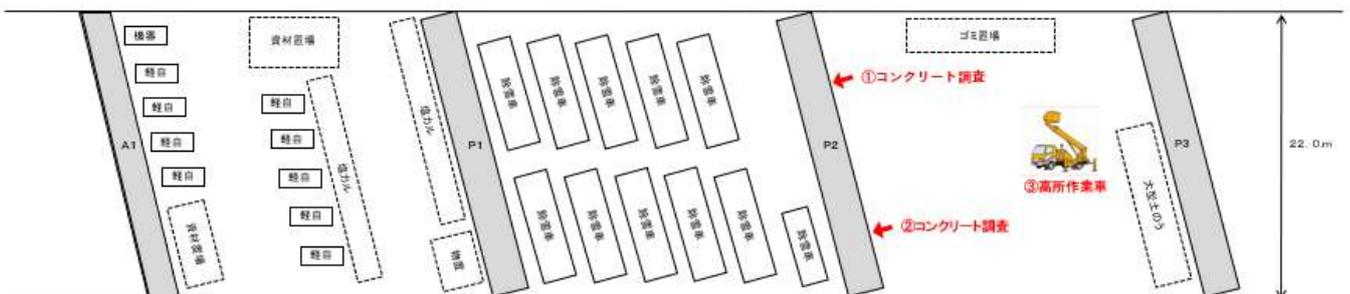


実習科目 配置図

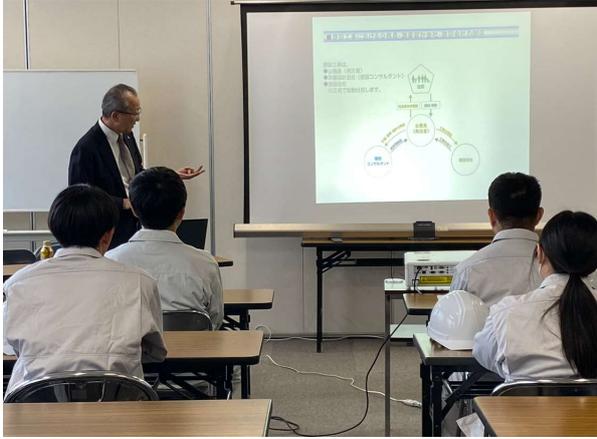
側面図



平面図



実習状況



松岡講師による講義
(インフラ維持管理の基礎)



コンクリート調査
(シュミットハンマーによるコンクリート強度推定)



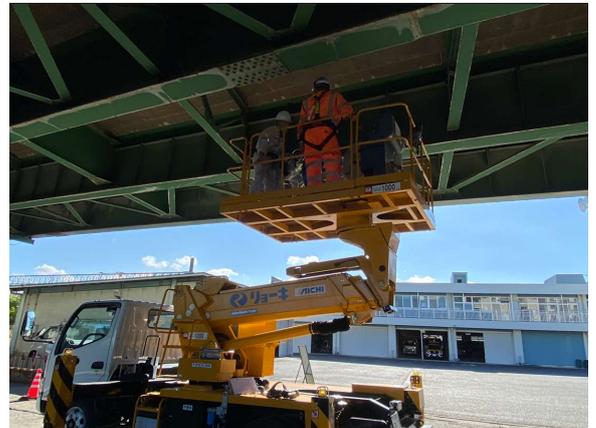
コンクリート調査
(RCLレーダーによる鉄筋探査)



コンクリート調査
(空洞のある不良コンクリート塊の打音調査)



コンクリート調査
(クラックスケールによるひび割れ幅測定)



高所作業車を利用したコンクリート調査
(打音調査、ひび割れ幅測定、鋼板厚測定ほか)



質疑応答



実習後の集合写真

2024. 11. 14 建設工業新聞



米子工業高校建設科の生徒を対象にした、インフラの維持管理に関する出前講座が11日に実施された。県コンクリート診断士会の協力のもと、県建設分野担い手確保・育成連携協議会が主催。国道181号・昭和

出前講座はエスジーズ（米子市東山町）と美保テクノス（米子市昭和町）に所属する診断士会員が講師を務め、座学と実習で構成。インフラの維持管理に関する基礎講義を受けたあと、生徒らは3

米工生に出前授業

インフラ維持管理を学ぶ

県担い手連携協議会

和歌山県を教材に、建設科土木コースの3年生11人が橋梁点検の実習に取り組んだ。写真。

地上では鉄筋探査やひび割れ幅測定、強度推定などを体験。さらに高所作業車に乗り込み、床版の打音調査と鋼橋桁の板厚測定にも手を動かした。参加した生徒は「一度修復した部分を叩くと音が違い、細かな破片が降ってくる。単純だけれどおもしろかった」と笑顔を見せた。